

インフォメーション・ガイド
 (一社)桜井市観光協会(商工会館内) ☎0744-42-7530

観光案内所
 桜井観光案内所(近鉄桜井駅構内) ☎0744-44-2377
 初瀬観光センター(桜井市初瀬) ☎0744-44-3331
 かしはらナビプラザ(近鉄大和八木駅南側) ☎0744-47-2270

交通機関
 近鉄旅客案内テレフォンセンター ☎06-6771-3105
 JR西日本お客様センター ☎0570-002-486
 奈良交通 様原営業所 ☎0745-82-2201
 奈良交通 テレフォンセンター ☎0742-20-3100
 近鉄タクシー ☎0744-42-2070
 日の丸交通 ☎0744-42-3255
 桜井交通 ☎0744-42-6571

宿泊施設
◆桜井駅周辺
 ホテルルートイン桜井駅前(洋175) ☎0744-44-1817
 JR-近鉄桜井駅下車、北口より東へ徒歩1分
 皆花楼(和7) ☎0744-42-2016
 JR-近鉄桜井駅下車、南へ徒歩2分
 とみやま館(和8) ☎0744-42-2810
 JR-近鉄桜井駅下車、北口より東へ徒歩1分
 西田屋旅館(和7) ☎0744-42-2310
 JR-近鉄桜井駅下車、北口より東へ徒歩1分
 ペンションサンチェリー(和1/洋11) ☎0744-43-5115
 JR-近鉄桜井駅下車、南へ徒歩1分

蔵の宿 櫻林亭(和2) ☎0744-45-1322
 JR-近鉄桜井駅下車、南へ徒歩3分
ゲストハウス和櫻(和2/カプセル4) ☎080-9007-4718
 JR-近鉄桜井駅下車、南口より徒歩5分
◆多武峰周辺
 多武峰観光ホテル(和41/洋1) ☎0744-49-0111
 JR-近鉄桜井駅からバスで25分、談山神社行き終点下車。またはタクシーで15分
 宿坊音羽山観音寺(和4) ☎0744-46-0944
 JR-近鉄桜井駅からバスで15分、談山神社行き下居下車徒歩40分。
 またはタクシーで15分、駐車場より徒歩30分

◆長谷寺周辺
 井谷屋(和29/洋1) ☎0744-47-7012
 近鉄長谷寺駅から徒歩15分、又は車で3分
 田中屋旅館(和5) ☎0744-47-7015
 近鉄長谷寺駅下車徒歩20分
 観光旅館 大和屋(和8) ☎0744-47-7402
 近鉄長谷寺駅から徒歩20分

初瀬ゲストハウスいったん(和2) ☎0744-48-3210
 近鉄長谷寺駅から徒歩5分

◆三輪駅周辺
 料理旅館 大正楼(和12) ☎0744-42-6003
 JR三輪駅から徒歩2分
 町家ゲストハウス三輪(和4) ☎0744-56-1264
 JR三輪駅から徒歩3分
 町家ゲストハウスみもろ(和3) ☎0744-35-2705
 JR三輪駅から徒歩3分

◆飛鳥周辺
 オーベルジュドぶれざんす桜井(洋9) ☎0744-49-0880
 JR-近鉄桜井駅から徒歩約10分
 ホテル奈良さくらの郷(洋30) ☎0744-48-0620
 JR-近鉄桜井駅から徒歩約10分

レンタサイクル
 ホテル奈良さくらの郷 ☎0744-48-0620
 JR-近鉄桜井駅から徒歩約10分
 とろろめし大和 ☎0744-42-1066
 JR三輪駅より徒歩5分
 ゲストハウス和櫻 ☎080-9007-4718
 JR-近鉄桜井駅南口から徒歩5分

レンタカー
 ここにレンタカー桜井とび店・桜井戒重店
 固定電話から ☎0120-32-2525
 携帯電話から ☎0570-04-2525

交通アクセス



- 鉄道の場合(乗換時間は含まず)
- 大阪方面から
 - 近鉄大阪上本町駅-鶴橋駅から(快速急行約40分)
 - JR大阪駅から奈良駅乗換え(快速約1時間15分)。または天王寺駅から区間快速高田行き、「高田駅」で乗換え(約50分)
 - 京都方面から
 - 近鉄京都駅から「大和八木駅」乗換え(急行約1時間10分)
 - JR京都駅から「奈良駅」乗換え(快速約1時間10分)
 - 名古屋・伊勢方面から
 - 近鉄名古屋駅から「大和八木駅」乗換え(特急約2時間)
 - 宇治山田駅-伊勢市駅から「大和八木駅」乗換え(特急約1時間40分)
 - 和歌山方面から
 - JR和歌山駅から和歌山線「高田駅」乗換え(約2時間30分)
 - 東京方面から
 - 東海道新幹線利用「名古屋駅」または「京都駅」乗換え(約4時間)
- お車の場合
- 大阪市内から
 - 西名阪自動車道「天理I.C.」から国道169号線(約1時間)
 - 阪和自動車道「美原I.C.」から南阪奈道路-国道24号線経由、国道165号線(約1時間10分)
 - 名古屋市内から
 - 東名阪自動車道から名阪国道「天理I.C.」を経て国道169号線(約2時間10分)
- リムジンバス
- 関西国際空港よりリムジンバス運行(関西国際空港⇄JR-近鉄桜井駅 約1時間40分)
 予約・問い合わせ先: 奈良交通バス予約センター TEL.0742-22-5110

発行
 桜井市役所 観光まちづくり課
 TEL.0744-42-9111
 FAX.0744-48-0271

桜井市観光情報はこちらから↓
 桜井市観光協会 検索



桜井ふるさと寄附金

ふるさと納税 楽天ふるさと納税



自然につつまれ、神を感じて、御仏に会える癒やしの里



ナビコメント付きでとっても便利!
六街道別・おすすめハイキングコース & マップ
 観光地への移動に便利な道情報満載の桜井市全域網羅の見開きマップ付き!
特集: はじまりの街・桜井伝説
 万葉ロマンの世界へ誘う
桜井の万葉歌碑大紹介
 もっと、あたらしく。ずっと、なつかしく。
大和さくらいブランド認定
 さくらい花のこよみ

完全保存版!!

自分で書いちゃおう
 グルメ・メモ付き



桜井市観光ボランティアガイド
 桜井市観光ボランティアの会では、桜井の歴史文化や社寺等の観光ガイドを行なっています。古代の歴史とロマンのあふれるまち桜井の魅力をもっと知りたい、楽しみたいと思われる皆さん、ぜひお申し出ください。

■料金 無料。但し、ガイド交通費の負担有り。
 ※別に、有料施設の使用等が必要な場合は、申し込み者で負担してください。

■申込 FAXにて事前申込(ガイドご希望日の1週間前まで)をお願いします

■申込先 桜井市観光まちづくり課内
 桜井市観光ボランティアガイドの会事務局
 TEL.0744-42-9111 FAX.0744-48-0271

- ① みんなでエコ
 たばこもゴミもポイ捨て禁止です。
 美しい自然の中では勿論、町中や駅ゴミ箱に大量のゴミを捨てるのも、マナー違反です。ゴミは捨てるに持ち帰りましょう!
- ② みんなでエコ
 この「さくらい旅人読本」も捨てないで、何度も活用してくださいね!
 何度も訪れて、沢山の情報を書き込めば、貴方だけのガイドブックができちゃいますよ。

ひみこの里・記紀万葉のふるさと

さくらい 六街道を 巡り歩く



大神神社 (山の辺の道)



長谷寺 (伊勢街道)

かつての古代ヤマト王権の中心地であり
そこかしこに万葉人の足跡が見える「さくらい」
美しい自然と大いなる歴史文化、そして現代の「さくらびと」が
受け継ぎ振舞う美味なるものが散らばる街道には
多くの旅人たちが魅了される。

三輪山の山裾を縫って歩く最古の古道、山の辺の道
長谷詣での道、そして大和と伊勢を結ぶ信仰の道、伊勢街道
関西の日光ともいわれる談山神社へと続く多武峯街道
古事記、日本書紀に伝えられる神武伝説ゆかりの忍坂街道
飛鳥以前の王都の地、大化改新の歴史の舞台を巡る磐余の道
心と体の健康を願う大和長寿道
六つの街道は、過去と現在をつなぐ入り口であり
歴史をひもとく鍵でもある。



談山神社 (多武峯街道)



粟原寺跡 (忍坂街道)



安倍文殊院 (磐余の道・大和長寿道)



土舞台 (磐余の道・大和長寿道)

もくじ

- 花のこよみ1
- 山の辺の道エリア2
- 伊勢街道・上之郷エリア4
- 多武峯街道・忍坂街道エリア6
- 磐余の道・大和長寿道エリア8
- 大和さくらいブランド10
- 桜井の記紀万葉歌碑15
- 桜井市全域詳細マップ16



椿 (玉列神社)



桃 (山の辺の道・松原神社付近)



権現桜 (龍蔵神社)



牡丹 (長谷寺)



笹ゆり (大神神社)



あじさい (長谷寺)



そばの花 (笠地区)



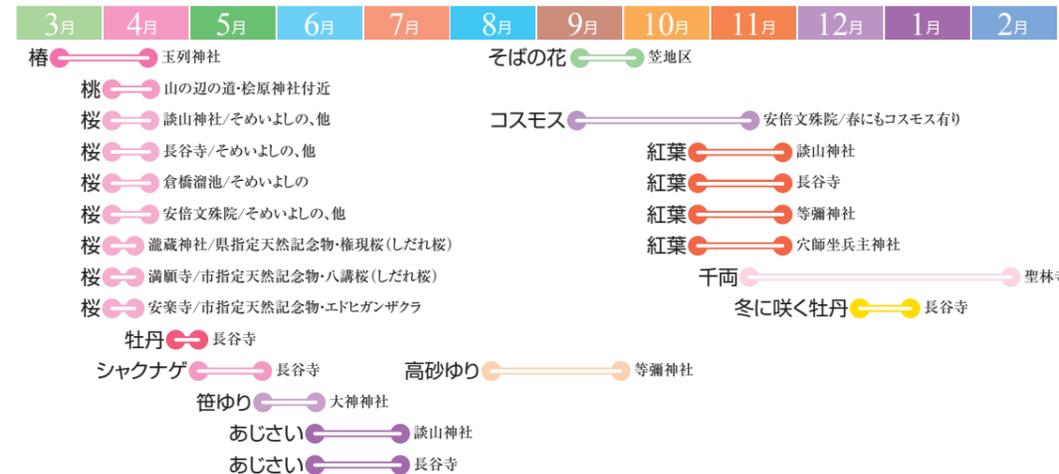
コスモス (安倍文殊院)



紅葉 (談山神社)

さくらい 花のこよみ

「さくらい」の四季は実に美しい。
椿や桜、紫陽花に紅葉。
古代から現代に至るまで変わらない
華やかな草木花の姿は
国の「まほろば」を飾り続けている。



山の辺の道エリア

古代ロマンがいっぱい！ 日本最古の道を歩いてみよう。



5 大神神社 古事記・日本書紀
日本最古の神社といわれ、国造りの神様、また医療、酒造、方除等、人間の生活全般の守護神として、大和の国一の宮、三輪明神として親しまれている。三輪山をご神体とするため、本殿はなく拝殿(重要文化財)の奥にある三ツ鳥居(重要文化財)を通して三輪山を拝む、古代の信仰形態を現在に伝えている。祭神は大物主大神。
●TEL/0744-42-6633



大和の社の展望台は、大和三山が見渡せる絶景ポイント。

はじまりの街・秘伝伝説その1 仏教伝来の地

桜井市金屋の河川敷のあたりは、昔、海柘榴市(つばいち)とよばれ、大陸からの船が大阪(難波津)から大和川をさかのぼって到着する船着場があった場所で、外国から多くの遣いや物資が上陸したと伝えられている。欽明天皇の時代に、百濟(いまの韓国西部)の聖明王からの使節もこの地に上陸し、仏像と教典を贈り、仏教の信仰をすすめたとされている。

1 仏教伝来之地碑 日本書紀
初瀬川のほとり、金屋河川敷公園の堤の上に高さ3.8mの碑がある。



4 三輪山平等寺
本尊は十一面観音菩薩。西暦581年に聖徳太子が世の中の平和と安寧を念じ、三輪明神に祈願して賊徒平定後十一面観音を彫んで寺を建立。大三輪寺と称したのにはじまる。関ヶ原の戦いに破れた島津義弘が、一時この寺でかくまわれたと伝えられている。●TEL/0744-42-6033



6 玄寶庵
世阿弥の作と伝えられる謡曲「三輪」に登場する玄寶庵。その筋書きでは、玄寶がここで三輪明神の化身である女性と知り合い、三輪の故事神徳を聞かされた。不動明王を重要文化財。●TEL/0744-42-6447

7 桜原神社 古事記・日本書紀
西に続く檜原台地は大和國中を一望する絶好の地。春分、秋分ごろ、神社の正面に見える二上山に夕日が沈む様子は、幻想的である。宮殿に奉っていた天照大神の神霊を、崇神天皇が豊鍬入姫命に託して奉ったと言われる。元伊勢の伝承地である。●TEL/0744-45-2173

三輪のまち歩き! オプションコース

D 恵比須神社
わが国最古の市・海石樺市の伝統を受け継ぎ商売の守護神として信仰を集める。初市大祭は毎年2月5~7日。●TEL/0744-42-6432
恵比須神社を中心とする三輪の町並みには、むしこ恋と格戸の町家が残り、門前町・宿場町として栄えた歴史と文化が感じられる。



はじまりの街・秘伝伝説その2 相撲発祥の地

「日本書紀」の中に、はじめて相撲がとられたときの話が記されている。垂仁天皇のとき、大臣の一人が「当麻に当麻蹴速(たいまのけはや)という、ものすごく強いものがおり、命がけて力比べしたいものだ、と言っております」と言った。すると別の大臣は「出雲の国に野見宿禰(のみすくね)という勇士がおります」と答えた。そこで、纏向のカタヤケシの地において、天皇の前(今でいう天覧試合)で二人に力比べをさせることになった。お互いに足の蹴り合いとなり、最後は野見宿禰が勝利した。これが相撲のはじまりと言われている。

8 相撲神社
勝利の聖
神社境内の中央に土俵が新しく設けられました。

はじまりの街・秘伝伝説その2 相撲発祥の地

「日本書紀」の中に、はじめて相撲がとられたときの話が記されている。垂仁天皇のとき、大臣の一人が「当麻に当麻蹴速(たいまのけはや)という、ものすごく強いものがおり、命がけて力比べしたいものだ、と言っております」と言った。すると別の大臣は「出雲の国に野見宿禰(のみすくね)という勇士がおります」と答えた。そこで、纏向のカタヤケシの地において、天皇の前(今でいう天覧試合)で二人に力比べをさせることになった。お互いに足の蹴り合いとなり、最後は野見宿禰が勝利した。これが相撲のはじまりと言われている。

9 穴師坐兵主神社
秋には参道沿いの紅葉が美しい。「延喜式」では名神大社に数えられるなど最高の格式をもつ。社記によると、本社は崇神天皇の時代、倭姫命が天皇の御脚の守護神として奉祭せられたという。●TEL/0744-42-6420

はじまりの街・秘伝伝説その2 相撲発祥の地

「日本書紀」の中に、はじめて相撲がとられたときの話が記されている。垂仁天皇のとき、大臣の一人が「当麻に当麻蹴速(たいまのけはや)という、ものすごく強いものがおり、命がけて力比べしたいものだ、と言っております」と言った。すると別の大臣は「出雲の国に野見宿禰(のみすくね)という勇士がおります」と答えた。そこで、纏向のカタヤケシの地において、天皇の前(今でいう天覧試合)で二人に力比べをさせることになった。お互いに足の蹴り合いとなり、最後は野見宿禰が勝利した。これが相撲のはじまりと言われている。

10 善墓古墳
前方後円墳の中で最も古式の1つ。邪馬台国の女王「卑弥呼」の墓ではないかとも考えられている。全長約280m、3世紀中頃から後半頃の築造で、宮内庁によって倭迹迹日百襲姫命の墓に指定されている。「日本書紀」には、屋人が造り夜は神が造ったとの不思議な記事が残る。

はじまりの街・秘伝伝説その2 相撲発祥の地

「日本書紀」の中に、はじめて相撲がとられたときの話が記されている。垂仁天皇のとき、大臣の一人が「当麻に当麻蹴速(たいまのけはや)という、ものすごく強いものがおり、命がけて力比べしたいものだ、と言っております」と言った。すると別の大臣は「出雲の国に野見宿禰(のみすくね)という勇士がおります」と答えた。そこで、纏向のカタヤケシの地において、天皇の前(今でいう天覧試合)で二人に力比べをさせることになった。お互いに足の蹴り合いとなり、最後は野見宿禰が勝利した。これが相撲のはじまりと言われている。

11 辻地区大型建物群
纏向遺跡辻地区にある復元された大型建物群の柱跡。建物東西に整然と並び、付近では大量の桃の種も見つかった。

おすすぬハイキングコース 山の辺の道

距離:JR柳本駅まで約10.2km
所要時間:約4時間30分

おすすぬハイキングコース 山の辺の道

距離:JR柳本駅まで約10.2km
所要時間:約4時間30分

古来、大和の国の発祥地と考えられ、日本のルーツを求める人々がこの地の山裾の道を歩き、そこから「山の辺の道」は発展したといわれている。

JR近鉄桜井駅
1.6km 1.9km 本町通コース

- 1 仏教伝来之地碑 0.3km
- 2 海柘榴市観音堂 0.5km
- 3 金屋の石仏 0.3km
- 4 三輪山平等寺 0.3km
- 5 大神神社 1.2km
- 6 玄寶庵 0.4km
- 7 桜原神社 1.7km
- 8 相撲神社 0.2km
- 9 穴師坐兵主神社 1.4km
- 10 景行天皇陵 1.3km
- 11 崇神天皇陵 0.3km
- 12 黒塚古墳 0.7km

JR柳本駅

おすすぬハイキングコース 山の辺の道

距離:JR柳本駅まで約10.2km
所要時間:約4時間30分

古来、大和の国の発祥地と考えられ、日本のルーツを求める人々がこの地の山裾の道を歩き、そこから「山の辺の道」は発展したといわれている。

JR近鉄桜井駅
1.6km 1.9km 本町通コース

- 1 仏教伝来之地碑 0.3km
- 2 海柘榴市観音堂 0.5km
- 3 金屋の石仏 0.3km
- 4 三輪山平等寺 0.3km
- 5 大神神社 1.2km
- 6 玄寶庵 0.4km
- 7 桜原神社 1.7km
- 8 相撲神社 0.2km
- 9 穴師坐兵主神社 1.4km
- 10 景行天皇陵 1.3km
- 11 崇神天皇陵 0.3km
- 12 黒塚古墳 0.7km

JR柳本駅

名物はこれだ!! 絶対食べたい地元グルメ。

三輪そうめん
厳選した小麦粉、三輪の清水、塩、そして聖なる山から盆地に吹く北風と天日。四季のはっきりした三輪の自然と風土を最大限に生かして作られた三輪素麺は口当たりなめらかにしてコシが強く、茹であたものびにくいそうめんです。

名店を見つけたらメモしておこう!

おすすぬハイキングコース 山の辺の道

距離:JR柳本駅まで約10.2km
所要時間:約4時間30分

古来、大和の国の発祥地と考えられ、日本のルーツを求める人々がこの地の山裾の道を歩き、そこから「山の辺の道」は発展したといわれている。

JR近鉄桜井駅
1.6km 1.9km 本町通コース

- 1 仏教伝来之地碑 0.3km
- 2 海柘榴市観音堂 0.5km
- 3 金屋の石仏 0.3km
- 4 三輪山平等寺 0.3km
- 5 大神神社 1.2km
- 6 玄寶庵 0.4km
- 7 桜原神社 1.7km
- 8 相撲神社 0.2km
- 9 穴師坐兵主神社 1.4km
- 10 景行天皇陵 1.3km
- 11 崇神天皇陵 0.3km
- 12 黒塚古墳 0.7km

JR柳本駅

長谷寺詣でするように 平安貴族気分で歩いてみよう。



木々の向こうに優雅な姿を覗かせる長谷寺の五重塔。

4 長谷寺 仁王門から本堂へ続く登廊が印象的。399段ある石段を登りながら、桜、牡丹、あじさい、紅葉、冬に咲く牡丹など四季折々の花が楽しめる。本堂の舞台からは、門前町や喜山の原生林が一望できる。山号を「豊山」と称える。創建以来9度の罹災で焼失と復興を繰り返す。現在の本堂は、西暦1650年に再建されたもので、西暦2004年(平成16年)12月に国宝に指定された。真言宗豊山派の総本山として、また西国三十三観音霊場第八番札所として、全国に末寺3000余ヶ寺をかぞえ、多くの人々の信仰をあつめている。
●TEL/0744-47-7001

おすすめハイキングコース 伊勢街道

距離:近鉄長谷寺駅まで約8.5km
所要時間:約4時間30分

平安中期には紫式部や清少納言という当時の流行作家が書いた長谷の観音参りが有名となって栄えた。江戸末期のおかげ参り(お伊勢まいり)で人々の往来が盛んとなった街道。



B 玉列神社 旧指定村社であったが、西暦1877年(明治10年)大神神社の境内摂社となった式内社。祭神は玉列王子神・天照大神・春日大神。境内には榎の木が多く、3月には榎まつりが開催される。
●TEL/0744-42-6738

**はしまりの街・秘伝伝説-その3
万葉集発祥の地**
万葉集は、雄略天皇のおおらかな妻問ひの歌に始まる。こもみこもち ふくしもよ……明るくて、自信に満ちあふれた恋の歌からは、その時代の人々の素朴で生き生きとした情が伝わってくる。この歌は、宮殿があった近くの野辺で詠まれたのだろうか。市内の黒崎の集落あたりには、この雄略天皇の泊瀬朝倉宮があったと伝えられている。
桜井市は、万葉の歌の宝庫。ゆかりの歌は約240首あるといわれ、道端には万葉歌碑が木陰から語りかけるように建てられている。
1 白山神社 境内の南東隅に、万葉集がこの地からはじまったことを讃える「万葉集発祥讃仰碑」と、傍らに巻頭を飾る雄略天皇の万葉歌碑が建てられている。

ちょっと寄り道! オプションコース。
A 阿弥陀堂 境内には付近の伊勢街道沿いから移した石仏や道標が多数祀られている。玉列神社の神宮寺だった。境内入口のけやきの巨木は樹齢400年といわれる。
●TEL/0744-42-7703



2 十二柱神社 神社境内には野見宿禰の五輪塔が建てられている。また神社参道の石段を登った所にある狛犬の台座には珍しい相撲取りの人物が見られ、片方4人ずつで大きな狛犬を支えている。



神の里・上之郷。今も残る懐かしの里山の風景。

D 小夫天神社 境内の西側に県内最古と云われている「ケヤキ」が植わっている。神社に伝わる古文書によると、第23代額宗天皇の額宗紀に「榎樹也田中乃社也」とあり、榎の神木がある事が記されている。

B 瀧蔵神社 長谷寺の奥の院と称し、古来より信仰深き神社にて長谷寺へお詣りしても瀧蔵神社へ参詣しなければ御利益は半減すると伝えられている。神社の入口には、「権現桜」と呼ばれる樹齢400年以上の見事な県指定天然記念物のしだれ桜(1ページ写真)がある。

C 笠山三宝荒神社 日本三大荒神のひとつ。古くから「笠の荒神さん」として親しまれ、カマドの神様として信仰があつた。1月28日、4月28日、9月28日の大祭には、神輿のお渡りが行われる。



C 興天満神社 長谷寺の地主神でわが国最古の天満宮といわれる。本殿は桜井市指定文化財。10月第三日曜日の大祭は神輿、太鼓台のお渡りにぎわう。

おすすめハイキングコース

名物はこれだ!! ハズせない長谷寺土産。

草もち 香り高いよもぎで作られ、田舎風に焼きあげたもの。よもぎは昔から邪気を払う力があり、寿命が延びるといわれる。その昔、長谷参りの旅人に草もちをさし上げたところ、たいそう喜ばれ、評判となった。

出雲人形 出雲の集落で昔から作られている素朴な人形。そのルーツは埴輪とも言われている。長谷寺の参詣客には昔からとても喜ばれているお土産物。

G 荒神の里 笠そば 地元笠産のそばの実を100%使用した。歯切れがよく風味豊かなそば。広大なそば畑では9月中旬に可憐な花を咲かせ、観光客に非常に人気がある。そば打ち体験もすることができ(要予約)、大和さくらいブランドに認定されている持ち帰り用の乾麺そばも人気。

3 法起院 西国三十三ヶ所番外札所。長谷寺を開き西国観音霊場巡礼を始めた徳道上人が晩年隠棲した寺。西暦735年(天平7年)の開基と伝えられている。
●TEL/0744-47-8032



中大兄皇子と藤原鎌足も歩いたかも...? 多武峯山越え道と神武伝説ゆかりの道を歩こう!



7 談山神社
 本殿・拝殿などの華麗な社殿や世界唯一の木造三重塔とともに、四季通じて楽しめる。故事にちなんで桜や紅葉と共に春秋に行われる古式ゆかしいけり祭りも有名である。中大兄皇子と中臣鎌足が、多武峯に登り「大化改新」の談合を行ったことから、後にこの山を談山、談所ヶ森と呼び神社社号の起りとなった。藤原鎌足を祭神とする。
 ●TEL/0744-49-0001

おすすめハイキングコース
 多武峯街道

距離: 談山神社まで約8.8km
 所要時間: 約5時間

大化改新の主役、中大兄皇子と藤原鎌足が蘇我氏討伐を話し合ったといわれる談山神社のある多武峯に登る道で、戦国時代は秀吉の吉野統制の道としても有名。

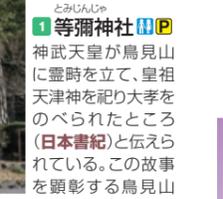
- JR・近鉄桜井駅 1.4km
- 1 等彌神社 1.3km
- 2 談山神社一の鳥居 0.9km
- 3 聖林寺 1.0km
- 4 崇峻天皇陵 3.0km
- 5 不動の滝 0.5km
- 6 屋形橋 0.7km
- 7 談山神社



中霊時春季大祭が5月13日に行われる。木々に囲まれた境内には、万葉歌碑や佐藤春夫・堀口大学などの18基もの句碑がある。毎年8月18日には、堀口大学ゆかりの百合にちなんで大学百合祭を行う。秋の紅葉も見事である。
 ●TEL/0744-42-3377



3 聖林寺
 国宝十一面観音像は天平彫刻として有名で、日本彫刻史上の代表作の一つに挙げられる。安産祈願のお寺としても知られており、また、山門からの展望がよく、三輪山を美しく一望できる。西暦712年(和銅5年)に藤原鎌足(かまたり)の長男定慧(じょうえ)が創建した。
 ●TEL/0744-43-0005



1 等彌神社
 神武天皇が鳥見山に登時を立て、皇祖天津神を祀り大孝をのべられたところ(日本書紀)と伝えられている。この故事を顕彰する鳥見山に登る。目の前の県道でなく、川沿いの地道を歩く。

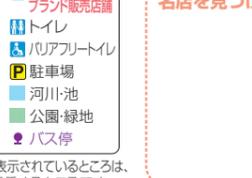
はしりの街・神武伝説その4
大化改新の談合した地

舒明、皇極二代の天皇の世に、国の政治を欲しにまにまにしていた蘇我蝦夷、入鹿の親子を討伐し、政治を改革しようとした中大兄皇子(後の天智天皇)と中臣鎌足(後の藤原鎌足)が、西暦645年の5月に藤の咲き乱れる多武峯に登って「大化改新」の談合を行ったことから、後にこの山を談山、談所ヶ森と呼ばれるようになった。御談所の碑があるこの山から、さらに奥へ約5分ほど行くと御破裂山に着く。自然林の茂る山上には墓があり、藤原鎌足の墓と伝えられる。(一説には、鎌足の子・定慧の墓とも言われている。)

現地は眺望絶景で、大和平野が一望でき、大和三山や遠くは葛城連峰が望まれ、しばしば古代に思いをはせるのも楽しいもの。

C 談山の碑

おashionコース
 ひと足伸ばして談山神社から藤原鎌足の墓へと通じるコース。御破裂山からの眺めは絶景そのもの!



1 桜井茶臼山古墳
 前方部が直線的な柄鏡(えかがみ)の形をしていることから、前期古墳でも古い時代のものだと考えられる。竪穴式石室は朱塗りの板岩を積んだ豪壮なもので、出土品には玉杖や玉葉、鉄刀、鉄剣、鏡(81面)などがある。

2 舒明天皇陵
 外鎌山の西南麓の小尾根の先端に営まれた古墳で、二段築成の円形または八角形の墳丘の前面に、裾が広がる三段に築いた方形段をもつといわれる。

3 石位寺
 ここから国道へ。自動車の注意。

4 大伴皇女墓
 ここから国道へ。自動車の注意。

5 石位寺
 小さな会所寺だが、本堂の裏に小さな収蔵庫があり、日本最古といわれる石仏(石造浮彫伝薬師三尊像/重要文化財)が安置されている。角に丸味のある三角形の砂岩に半肉彫りされた三尊像で、椅子や蓮座を前に傾ける手法は、白鳳時代に流行した博弘押出仏様式である。

6 史跡 粟原寺跡
 粟原集落南端の天満神社境内とその隣接地に、塔・金堂跡が残る。長野県清水寺の仏像(重文)や市内忍坂の石位寺の薬師三尊石仏(重文)などは、かつてこの粟原寺に存在していたものと考えられている。三重塔伏鉢(国宝・談山神社蔵)の銘文によると、中臣朝臣大嶋が草壁皇子のために建立した寺で、比売朝臣額田が西暦694年(持統天皇8年)から造営を始め、西暦715年(和銅8年)に完成したことがわかっている。

おすすめハイキングコース
 忍坂街道

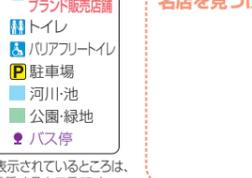
距離: 栗原バス停まで約8.1km
 所要時間: 約5時間

神武伝説ゆかりの道。日向から瀬戸内海を東進し、難波から南に迂回した神武天皇は熊野・吉野山の山中を越え、宇陀から忍坂に至り大和平定を成就したと伝えられる。

- JR・近鉄桜井駅 1.2km
- 1 桜井茶臼山古墳 2.3km
- 2 舒明天皇陵 0.1km
- 3 鏡女王墓 0.2km
- 4 大伴皇女墓 0.7km
- 5 石位寺 2.7km
- 6 史跡 粟原寺跡 0.9km

5 石位寺
 小さな会所寺だが、本堂の裏に小さな収蔵庫があり、日本最古といわれる石仏(石造浮彫伝薬師三尊像/重要文化財)が安置されている。角に丸味のある三角形の砂岩に半肉彫りされた三尊像で、椅子や蓮座を前に傾ける手法は、白鳳時代に流行した博弘押出仏様式である。

6 史跡 粟原寺跡
 粟原集落南端の天満神社境内とその隣接地に、塔・金堂跡が残る。長野県清水寺の仏像(重文)や市内忍坂の石位寺の薬師三尊石仏(重文)などは、かつてこの粟原寺に存在していたものと考えられている。三重塔伏鉢(国宝・談山神社蔵)の銘文によると、中臣朝臣大嶋が草壁皇子のために建立した寺で、比売朝臣額田が西暦694年(持統天皇8年)から造営を始め、西暦715年(和銅8年)に完成したことがわかっている。



名物はこれだ!! ハズせない地元の銘酒。

酒造の神・三輪明神の地元桜井市では、軒先に杉玉をつるした蔵元があり、それぞれの先祖伝来の技を守り、新しい製法を取り入れ、よりおいしい酒作りを力を入れている。造り酒屋の軒を飾る杉玉は三輪山の杉で作る。

名店を見つけたらメモしておこう!

- 凡例**
- おすすめポイント
 - 主な観光地
 - 歌碑ポイント
 - 観光地
 - 公共施設
 - 教育施設
 - 道路解説
 - 観光案内所
 - 大和さくらいプラザ販売店舗
 - トイレ
 - バリアフリー
 - 駐車場
 - 河川・池
 - 公園・緑地
 - バス停

説明マップ内で茶色で表示されているところは、「古事記・日本書紀」に関係するところ。

大和さくらいブランド YAMATO SAKURAI BRAND

もっと、あたらしく。ずっと、なつかしく。 大和さくらいブランド YAMATO SAKURAI BRAND

大和さくらいブランドは、先人たちが残していった、いにしへのモノやコトを大切に、次代にフィットする「あたらしい」ものづくりを通じて、「なつかしい」豊かなひとときを紡いでいきます。



やまと 大和おいね

創業100年を超える老舗のふとん店が作る、背負う防寒着です。奈良県の古い方言「おいねる(背負う)」が名前の由来。自然素材の綿わたを使用。肌着の上にも着用でき、脱着も簡単!2分で実感していただき、24時間カイロなしでも背中ばっかばっか!!

- 1** ●店名:井上ふとん店
●住所:奈良県桜井市芝330
●駐車場:2台 ●定休日:不定休
●営業時間:9:00~21:00
●電話番号:0744-42-6180



- 4** ●店名:株式会社 白玉屋榮壽
●住所:奈良県桜井市三輪660-1 ●駐車場:15台
●定休日:月曜(祝日の場合、火曜に振替休日)
●営業時間:8:00~19:00
●電話番号:0744-43-3668



こまち ざこうい さくらい木町「塗香入れ」

江戸時代から身に着けられていた、お浄の粉を入れる道具である「塗香入れ」。主に桜井で製材された「樺」を使用し、落ち着きのある樺の木目を活かし、塗香の散乱を防ぐため独自の手法を凝らしたオリジナルの塗香入れに仕上がっています。(右写真)



- 5** ●店名:文殊房
●住所:奈良県桜井市三輪1186-1
●駐車場:有 ●定休日:不定休
●営業時間:10:00~18:00
●電話番号:0744-45-2004

き き まん よう めく 記紀万葉ふるさと巡りツアータクシー



市内の歴史ある社寺や山の道の道などバスでは行けない場所も含め、タクシードライバーの観光案内で効率よく市内の観光名所・旧跡を巡ることができるツアータクシーです。色々なコースがあるのでご相談してください。



- 2** ●店名:日丸交通株式会社
●住所:奈良県桜井市三輪767-3
●電話番号:0744-42-3255

やまとのうさぎまんじゅう

皮の原材料に奈良県産大和黑皮丸芋(やまとくろかわまるいも)を使用し、こし餡は地元桜井市で作られた小豆を原料にしています。添加物不使用。大神神社の「撫でうさぎ」にあやかった、見た目も可愛い自家製のお饅頭です。



- 3** ●店名:とろろめし山和
●住所:奈良県桜井市三輪648-3
●駐車場:3台
●定休日:水曜(1日、祝日の場合変更あり)
●営業時間:11:00~20:00(L.O.19:00)売切次第終了 ●電話番号:0744-42-1066



めいぶつ 名物 みむろ

大和上街道(やまとかみかいどう)の宿場町の銘菓として親しまれてきた名物「みむろ」は、祖・初代 白玉屋榮壽氏が創めて以来、170余年の間その製法と味を一代子相伝で七代にわたり受け継がれてきた逸品です。奈良県産を中心に一粒一粒厳選した大納言小豆の餡と、糯米(もちごめ)のやさしく包む最中皮の芳ばしい香りはまさに絶品。

こまち しきょうふで さくらい木町「写経筆」

お経を書き写す修行である写経は、文字数が多く墨がかすれやすいため、どうしても指先に力が入ってしまいます。このストレスを軽減するため、地元製材所の協力のもと滑りにくい木材「樺(けやき)」を使用し、形状にもユーザーの要望を取り入れた、こだわりの写経専用筆です。



めいぶつ 名物 ミワコロッケ

大和牛など厳選した食材を使用し、衣に三輪そうめんを加え、ジューシーでコクのある肉の旨味とサクサクの衣を楽しめるパリッとした一品です。駅前のお店に寄って、コロッケを片手に三輪のまち巡りをするのもオススメです。

- 6** ●店名:三輪末広精肉店
●住所:奈良県桜井市三輪361-1 (JR三輪駅前)
●駐車場:2台
●定休日:木曜
●営業時間:9:00~18:30
●電話番号:0744-42-6345



かなや せきぶつ 金屋のミニ石仏

山の辺の道の傍(かたわ)らに安置されている重要文化財の「金屋の石仏」に想いを得て作られた愛らしさが際立つ「ミニ石仏」。9代続く鍛冶屋の火の仕事を絶やさぬように「鍛冶屋の窯」と名付けられた薪の窯で生み出されている作品の1つです。



- 9** ●店名:やきものうめだ ●住所:奈良県桜井市金屋725 ●駐車場:なし
●定休日:不定休 ●営業時間:10:00~17:00 ●電話番号:0744-45-3021

みわ 三輪そうめん

そうめん発祥の地桜井で製造される三輪そうめんは、口当たりなめらかにしてしっかりとしたコシの強さや歯切れの良さに加え、茹でた後ものびにくい特徴があります。農林水産省の「地理的表示保護制度」のGIマークに登録し、この基準を満たす商品はすべてが本ブランドの認定品となります。

- 7** ●店名:奈良県三輪素麺工業協同組合
●住所:奈良県桜井市三輪334-6 ●駐車場:5台
●定休日:土曜・日曜・祝日 ●営業時間:9:00~17:00
●電話番号:0744-42-6068

- 8** ●店名:奈良県三輪素麺販売協議会
●住所:奈良県桜井市芝322-2
●電話番号:0744-43-2421



みわ いっこん 三輪一献

地元三輪などの酒蔵の吟醸酒粕と豆乳を使用し、口どけの良い生地に焼き上げました。奈良県の名産吉野葛を入れた「吉野羹(よしかん)」をはさみ、菓名も「三輪の酒」を連想させる名前にし、地元大和の誇れる逸品に仕上げました。

- 10** ●店名:大和路遊心菓 吉方庵 ●住所:奈良県桜井市栗殿345-1
●駐車場:10台 ●定休日:なし ●営業時間:9:00~19:00
●電話番号:0744-43-2306



まきのもも

種まで食べられる若桃を丸ごと一粒使った焼き菓子です。名前の由来は、卑弥呼が、桜井の「まきむく」の地で神々に桃を供え、祈りを捧げたという逸話から着想を得ています。桃本来のフルーティーさと、あっさりとした甘さの白餡との調和にこだわりました。



みわ ふうらい 三輪福来

桜井名産の三輪そうめんと北海道産小豆の出会い。和菓子の命ともいわれる餡にこだわり、小豆ならではの食感を活かした「しずる餡」を使用しています。衣には細かく砕いた「三輪そうめん」を使用し、サクサクとした食感で甘味を抑えた味に仕上げられています。9月中旬~4月中旬までの季節限定商品!

桜井市にある桜井らしい個性と魅力を持ったさまざまな素晴らしい産品(資源)の中から桜井市地域ブランド認定推進委員会が「独自性・優位性」「物語性(ストーリー)・伝統性」「品質性」「市場性・将来性」などを基準に審査し、桜井市長が認定したものを「オールさくらい」の商品として取り扱い、総称として「大和さくらいブランド」と呼ぶものです。



きせつ
季節のブランマンジェ

フランス発祥のスイーツ「ブランマンジェ」に桜井市で生産されたフルーツをジュレとして合わせた洋菓子です。口当たりが爽やかでとろけるブランマンジェには旬のフルーツを使用するため、四季折々に楽しむことができます。



- 23** ●店名:フレンチレストランKIYAMURA
●住所:奈良県桜井市桜井951
●駐車場:提携コインパーキング・有料50台
●定休日:月曜・第2日曜・第4日曜
水曜日はディナーのみ営業
●電話番号:050-5487-8618
●営業時間:ランチ11:00~15:00
ディナー17:00~21:00
(ディナーは前日予約制)



こうじん さと かさ かんめん
荒神の里・笠そば(乾麺)



「笠の荒神さん」と古くから親しまれる笠山三宝荒神社から名をとり、満開時には「白い絨毯」と形容される笠地区のそば畑で生産された玄そばを100%使用。ほどよい風味と歯切れ、のど越しの良いおそばです。

- 11** ●店名:有限会社 荒神の里・笠そば ●住所:奈良県桜井市笠4408 ●駐車場:100台
●定休日:水曜、12月30・31日 ●営業時間:10:00~16:00 ●体験:そば打ち体験
●電話番号:0744-48-8410

げんたい わとじちゆう
ならわしノート・現代和綴

「ならわし」とは「ことはじめ」のこと。「新しく習い事を始めようとする時にそばにおいてほしいノート」をコンセプトに商品を作りました。繊細で上品な「和紙ノート」は書き味も良く、驚くほどに軽いノートです。日記や俳句帳など、長く取っておきたいものに最適です。「現代和綴帳」は墨ののりが良いため御朱印帳や和の習い事にぴったりです。桜井市の歴史深さを感じられる古墳遺跡デザインなど全8種類のデザイン展開をしています。



め おと まんじゆう
やまとびと 女夫饅頭

江戸時代、『西国三十三所名所図会』に大和の代表的な菓子として紹介され、伊勢参りの人々に親しまれた「女夫饅頭」を復元。お饅頭は三層でできており、上は白い薯蕷(じょうよ)饅頭、下はピンク色の酒饅頭、真中には粒あんを挟み、厳選した素材で作られた上品な味です。

- 12** ●店名:やまとびとのこころ店
●住所:奈良県桜井市初瀬830
●定休日:不定休 ●電話番号:0744-55-2221

おだ まき のう えん とくべつ さいばい
OdaMaki農園の特別栽培いちご

土作りから始まり、土耕栽培で丁寧に育てたいちごは、香りがよく甘味があり、味に深みがあるのが特徴です。農業使用を極力減らし、奈良県で唯一の特別栽培いちごとして、人にも環境にも配慮した農業に取り組んでいます。現在は、古都華、珠姫、奈乃華、白いちご、おいCベリーの5品種が認定されています。



- 24** ●店名:OdaMaki農園 ●住所:奈良県桜井市菅中129
●収穫時期:12月~5月 ●定休日:不定休
●電話番号:090-8659-3947(繁忙期は連絡がつかない場合があります。)
●営業時間:9:00~17:00

よな ぼりまい
吉隠米

吉隠は、日当たりがよい穏やかな谷あい、棚田が美しい曲線を描いて重なる集落です。棚田の恵みを受けて育てられたお米は品質がよく、昔からおいしいお米がとれる里として知られてきました。ヒノヒカリ、ひとめぼれを品種とする「吉隠米」は、食味がよく甘味があり、冷めてもおいしいお米です。



- 13** ●店名:「吉隠米」ブランド化推進プロジェクト会議
●住所:奈良県桜井市吉隠800
●電話番号:0744-47-7872



えびすはる さめ
戎春雨



日本で初めて春雨の生産がされた桜井市で、創業当時から半世紀以上続く伝統製法で作られる国内産「はるさめ」。特徴としては太めな麺のため調理によりモチモチとした食感を生み、煮汁やタレを良く吸収する点です。食品添加物不使用。

- 14** ●店名:奈良食品株式会社
●住所:奈良県桜井市脇本448 ●駐車場:1台
●定休日:土曜・日曜 ●営業時間:8:00~17:00
●電話番号:0744-42-4396

ちやうす やま
茶臼山ドレーヌ

桜井市のお土産になるよう、店の近くにある古代大王の古墳と云われる茶臼山をイメージ。小さいお子様からご年配の方まで食べて頂けるようふんわりとやわらかく焼き上げたドレーヌを作りました。添加物不使用。



- 15** ●店名:スイーツ&カフェ MAMAN
●住所:奈良県桜井市外山1040-1
●駐車場:13台 ●定休日:火曜 ●営業時間:9:00~19:00 ●電話番号:0744-45-3772



さらいのとろぷりん

「桜井」から「く(苦)」が抜けるようにとの想いを屋号にこめ、1つ1つ丁寧に作る生クリームいっぱい濃厚とろとろ絶品プリン。そのままでも、ほろ苦い蜜をかけても、どちらでも美味しく頂けます。

- 16** ●店名:かぶえレストラン さらい
●住所:奈良県桜井市忍阪1131
●駐車場:第1駐車場4台
第2駐車場20台
●定休日:木曜
●営業時間:11:00~20:30
●電話番号:0744-49-2006



かき は
柿の葉おすし



素材・製法にこだわり抜いたひとつひとつ手作りの柿の葉おすしです。山の辺の道沿いで収穫された柿の葉を使用し、12月~5月頃は塩漬け、6月~10月頃は新緑、11月~12月は紅葉の葉を使用し、季節それぞれの楽しみがあります。

- 18** ●店名:柿の葉おすし 山の辺
●住所:奈良県桜井市山田676-2 ●駐車場:2台
●定休日:火曜・水曜 ●営業時間:10:00~17:00(売切次第終了)
●体験:「柿の葉おすし体験道場」天空の郷
●電話番号:0744-45-3675

たんざん きじょうしゅ
談山 貴醸酒

原材料に奈良県産キヌヒカリを使用し、仕込み水の代わりに吟味された清酒を用いて醸造しています。世界最大規模のワイン品評会「WCJ」2019の日本酒部門(古酒の部)でゴールドトロフィーを受賞しました。とろりとした琥珀色(こはくいろ)で、まろやかな甘口ながら後味すっきりのお酒です。



くらつく ならえ きおけじこみ ほんじょうぞう
蔵造り 奈良絵・木桶仕込 本醸造しょうゆ/本醸造山椒しょうゆ



- 19** ●店名:大門醸造 ●住所:奈良県桜井市大福646-1
●駐車場:5台 ●定休日:土曜・日曜・祝日・お盆・年末年始
●営業時間:9:30~16:30 ●体験:醤油造りの蔵見学 ●電話番号:0744-45-2331

たんざん きじょうしゅ るいじょうしゅ
談山 貴醸酒 累醸酒



原材料に奈良県産アキツホを使用し、仕込み水の代わりに貴醸酒を用い、米と米麴を入れて低温で発酵させたお酒です。IWC2017の日本酒部門(古酒の部)でゴールドトロフィーを受賞し、琥珀色(こはくいろ)でとろりと濃厚な味わいです。

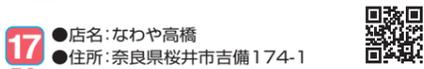
- 20** ●店名:西内酒造(地酒、談山醸造場) ●住所:奈良県桜井市下3 ●駐車場:5台
●定休日:不定休 ●営業時間:9:00~17:00 ●体験:酒蔵見学
●電話番号:0744-42-2284

こだいまいしゅ ひみこ さと
古代米酒 卑弥呼の里



桜井にふさわしいお酒を造りたいとの思いから、高品質の紫黒米を使用し「これぞ桜井」という天然色の美しい桜色をしたお酒に仕上げられています。やや辛口ですが華やかで透明感があり、女性にもお勧めの品のあるお酒です。

- 17** ●店名:なわや高橋
●住所:奈良県桜井市吉備174-1
●駐車場:5台
●定休日:日曜 ●営業時間:7:30~19:00
●体験:しめ縄教室、クラブハンド教室
●電話番号:0744-43-8482



なわたからぶね
わらしべしめ縄宝船



桜井市近辺の稲わらを一本一本吟味しつくられ、長谷寺門前の物語である「わらしべ長者物語」から名前を取っています。大黒天を中心に七福神がのる宝船であり、開店祝いや新築祝いなどの慶事の贈り物に最適です。

つづみ さと もく せい さくら
鼓の里 木製ボールペン 桜



鼓の胴に桜の木を用いたことから『鼓の里』と呼ばれる多武峰地区で生産された桜(山桜)を使用した木目や色が美しい本1本手作りの木製ボールペン。試験管に閉じ込めた木の香りが心地よく、使うほどに手になじむ温かみのあるオンリーワンの商品です。

- 店名:工房 夢咲花(ゆめさか)
- 住所:奈良県桜井市鹿路81-2
- 駐車場:有 ●定休日:不定休 ●体験:木工製作体験
- 電話番号:0744-49-0117

たまかすら
玉鬘

長谷寺・海柘榴市(つばいち)を舞台とする源氏物語に登場した姫君「玉鬘」をイメージした、大人も背負えるランドセルです。職人の技術で細部までこだわっており、業界初の取り組みとしても注目されています。



- 店名:カザマランドセル ●住所:奈良県桜井市粟原北谷666
- 駐車場:20台 ●定休日:木曜 ●営業時間:10:00~17:00
- 体験:キーホルダー作り ●電話番号:0744-42-4155

ひみこ にほん
Himiko (日本ミツバチのはちみつ)

日本書紀に「皇極2(643)年の頃、三輪山に蜜蜂を放ち養う」と。これが日本ではじめての養蜂だというのが通説になっています。その昔から伝わる何も手を加えない自然のままに採蜜し、上品な甘さとまろやかさが特徴の純度100%の天然蜂蜜です。

- 店名:Himiko (日本ミツバチのはちみつ)
- 電話番号:0744-43-5410 ●販売場所:山の辺の道、善中
- 販売時期:5月~11月(土・日・祝) ●定休日:不定休



いちばん あ
パスタに一番合うカレーソース

奈良県産、桜井市産の野菜などを原材料に使用し、様々なスパイスを加えたボロネーゼ風のカレーソースは、お子様でも美味しく食べられるマイルドな味わい。仕上げに粉チーズをたっぷりかければ美味しさ倍増! また、学門の神様として有名な文殊菩薩のおわす安倍の地にある当店の賄いとして誕生し、瞬間に名物パスタにまで一気に昇り詰めた事から、大変縁起が良い商品として知られています。全国に通信販売もしていますのでぜひご利用下さい。



- 店名:きどらない町のイタリアン café neutral(カフェニュートラル)
- 住所:〒633-0055 奈良県桜井市安倍木材団地1-9-4
- 定休日:日曜日(木曜日はランチタイムのみ営業)
- 電話番号:0744-41-6117
- 営業時間:(lunch) 11:00~14:00 (cafe) 14:00~16:00 (dinner) 18:00~22:00
- 通販サイト:HP内にあります。



ゆみはりひめ

桜井市桜井にある上げ山がお墓として伝えられる「桜井弓張皇女(ゆみはりのひめみこ)」。敏達天皇と推古天皇の娘であり聖徳太子とは従兄弟にあたります。このお姫様をモチーフに商品名を「ゆみはりひめ」とネーミングし、くちどけの良いリッチな食パンに仕上げました。原材料に市内で製粉された小麦粉のほか厳選した生クリームとバターをたっぷり使用した贅沢な配合の高級食パンは、お姫様のおしとやかさと芯の強さを表現しています。



- 店名:メゾン・ド・パネトリー
- 販売店舗:県内4店舗にて販売(詳しくはHPをご覧ください。)

万葉ロマンの世界へ誘う... 桜井の記紀万葉歌碑

桜井市の「記紀万葉歌碑」は、樹かげや草むらにさりげなく野仏のようにひっそりと佇むものが多い。それは、諸揮毫者の「歌碑必ずしも大なるをよとせず」とする意向でもあり、碑大ならずとも、歌を得、処を得、人を得て、歴史の舞台を駆け抜けた万葉歌人の「こころ」を伝える遺産ととらえる桜井市の素志でもある。六街道を巡りながら、記紀万葉歌碑を探して歩き、いくつ目に行けるか楽しみも増えるはず。

それぞれの歌碑に示したNo.番号は、P2~9の各エリアおすすめハイキングマップと、P16~17の「桜井市全域詳細マップ」に記載している歌碑設置ポイントと連動しています。場所によっては見つかりにくいところもありますので、じっくり探してください。

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>1 うま酒 三輪の山 青丹よし 奈良の山の山まに隠るまて道のまいさかるとつばらにも 見つけ行かむと しばしば見さけむ山と心なく雲の隠さふべしや</p> <p>巻名:巻1-17 作者:額田王 揮毫:中河與一</p> | <p>17 こもりくの 泊瀬の山 青龍の 忍坂の山は 走虫の よろしき山の虫出のくわし山ぞあたらし山の 荒れまく措も</p> <p>巻名:巻13-3331 作者:作者未詳 揮毫:有馬生馬</p> | <p>31 金鳥暗雨余 鼓聲催短命 泉路無実立 此夕離家向</p> <p>巻名:巻13-3331 作者:大津皇子 揮毫:福田恒存</p> | <p>45 泊瀬川 遠み早瀬と むすびあげてあかざや妹と とひし公はも</p> <p>巻名:巻11-2706 作者:作者未詳 揮毫:辰巳利文</p> |
| <p>2 2-2 山邊道(道標)</p> <p>2-3</p> <p>3 むばたまの 夜さり来れば 巻向の川音高しも あらしかも疾き</p> <p>巻名:巻7-1101 作者:柿本人麿 揮毫:武者小路実篤</p> | <p>18 夕さらば 河蝦鳴くなる 三輪川の清き瀬の音と 聞かくし良しも</p> <p>巻名:巻10-2222 作者:作者未詳 揮毫:樋口清之</p> | <p>32 ももつたふ 磐余の池に 鳴く鴨を 今日のみみても 雲がくりなむ</p> <p>巻名:巻3-416 作者:大津皇子 揮毫:中河與一</p> | <p>46 三輪山を しかも隠すか 雲だにもこころあらむ 隠さふべしや</p> <p>巻名:巻1-18 作者:額田王 揮毫:中河與一</p> |
| <p>4 三諸の その山なみに 子らが手を巻向山は つぎのよろしも</p> <p>巻名:巻7-1093 作者:柿本人麿 揮毫:佐藤佐太郎</p> | <p>19 しきしまの 大和の国は 言葉のさきはふ国ぞまさきありこそ</p> <p>巻名:巻13-3254 作者:柿本人麿 揮毫:平泉 澄</p> | <p>33 現身の 人なる吾れや 明日よりは二上山を 弟背と吾が見む</p> <p>巻名:巻2-165 作者:大津皇子 揮毫:小倉遊亀</p> | <p>47 ひとごとと しげみこらみ おのがせに 未だ波らぬ 朝川わたる</p> <p>巻名:巻2-116 作者:但馬皇女 揮毫:阿波野野青歌</p> |
| <p>5 あしひきの 山川の瀬の なるなべに弓月が蔽に 雲立ち渡る</p> <p>巻名:巻7-1088 作者:柿本人麿 揮毫:鹿原島壽藏</p> | <p>20 苦しくも 降り来る雨か 神の崎 狭野の渡りに 家もあらなくに</p> <p>巻名:巻3-265 作者:長恩寸奥 揮毫:木本誠二</p> | <p>34 標橋の 山を高めか 夜ごりに出で来る月の 光ともしき</p> <p>巻名:巻3-290 作者:間人宿禰大浦 揮毫:清水比彦</p> | <p>48 かぶ山は 敵火をととし 耳裂と相あそび神よりかくなるいかにへもかなれにうづせもつまをあらふらき</p> <p>巻名:巻1-13 作者:天智天皇 揮毫:東山魁夷</p> |
| <p>6 あしひきの 山かも高き 巻向の峯の小松に み雪降りけり</p> <p>巻名:巻10-2313 作者:柿本人麿 揮毫:岡 潔</p> | <p>21 夕されば 小倉の山に 臥す鹿の今夜は鳴かず い寝にけらしも</p> <p>巻名:巻9-1664 作者:雄略天皇 揮毫:平澤 興</p> | <p>35 梯立の 倉橋山に 立てる白雲 みま欲り わがするなべに立てる白雲</p> <p>巻名:巻7-1282 作者:作者未詳 揮毫:大西良廣</p> | <p>49 うま酒 三輪の祝(祝)の 山照らす 秋の黄葉 散らまく惜しも</p> <p>巻名:巻9-1517 作者:長屋王 揮毫:堂本印象</p> |
| <p>7 痛足河、河波立ちぬ 巻目の由規が蔽に 雲居立てるらし</p> <p>巻名:巻7-1087 作者:柿本人麿 揮毫:棟方志功</p> | <p>22 こもりくの 泊瀬の山の 際に いざよふ雲は 妹にかもあらむ</p> <p>巻名:巻3-428 作者:柿本人麿 揮毫:堀口大学</p> | <p>36 大君は 神にしませば 真木の立つ 荒山中に 海をなすかも</p> <p>巻名:巻3-241 作者:柿本人麿 揮毫:宇野哲人</p> | <p>50 狭井河よ 雲立ちわたり 敵火山の 木葉騒ぎぬ 風吹かむとす</p> <p>巻名:古事記 作者:伊須余余理比亮 揮毫:月山貞一</p> |
| <p>8 巻向の 山邊とよみて 行く水のみなあわの如し 世の人われは</p> <p>巻名:巻7-1269 作者:柿本人麿 揮毫:市原豊太</p> | <p>23 萬葉集發燿讚仰碑</p> <p>こもよ みこもら ふくしもよ みふくし持らこの岳に 菜摘ます子家のらせ 名のらせね</p> <p>そらみつ 倭の国は おしなべて われにぞとれ敷きなべて われにぞとれ我とこそ 背とはのらぬ(我こそはのらぬ) 家とも名をも</p> <p>巻名:巻1-1 作者:雄略天皇 揮毫:保田與重郎</p> | <p>37 山川に 鴛鴦二ついで 鴛ひよく 偶へる妹と 誰か率にけむ</p> <p>巻名:日本書紀 作者:野中川原史満 揮毫:前川佐美雄</p> | <p>51 家にあらば 妹が手まかむ 草枕 旅にこやせる この旅人あはれ</p> <p>巻名:巻3-415 作者:聖徳太子 揮毫:間中定泉</p> |
| <p>9 いにしへに ありけむ人もわかぬか 三輪の松原に かざし折りけむ</p> <p>巻名:巻7-1118 作者:柿本人麿 揮毫:吉田富三</p> | <p>24 岩走り たざら流るる 泊瀬川 たゆる事なく またも来てみむ</p> <p>巻名:巻6-991 作者:紀朝臣鹿人 揮毫:宇野精一</p> | <p>38 梯立の 倉橋山を 喰しみて 岩かきかねて 吾が手とらすも</p> <p>巻名:古事記 作者:遠藤別王 揮毫:湯川秀樹</p> | <p>52 うかねらふ 跡見山雪の いらしらく 志ひは妹が名 人知らむかも</p> <p>巻名:巻10-2346 作者:作者未詳 揮毫:徳川宗敬</p> |
| <p>10 大和は 国のまほろば たたなづく 青垣山ごもれる 大和し 美し</p> <p>巻名:古事記・中巻 作者:倭建命 揮毫:川端康成</p> | <p>25 こもりくの 泊瀬の山に 照る月は みるかけすも 人の常なき</p> <p>巻名:巻7-1270 作者:作者未詳 揮毫:林 武</p> | <p>39 久方の 天ゆく月を 網にさし わが大君は きぬがせにせり</p> <p>巻名:巻3-240 作者:柿本人麿 揮毫:山岡社八</p> | <p>53 やまとは くにのまほろば たたなづく 青がき山ごもれる 大和しうるわし</p> <p>巻名:古事記 作者:倭建命 揮毫:敏 誠郎</p> |
| <p>11 三諸は 人の守る山 本辺は あしび花咲き 来辺は 椿花咲く うらぐはし山ぞ 泣く見守る山</p> <p>巻名:巻13-3222 作者:作者未詳 揮毫:久松静一</p> | <p>26 こもりくの 泊瀬の山は 色づきぬ しぐれの雨は 降りにけらしも</p> <p>巻名:巻8-1593 作者:大伴坂上郎女 揮毫:里見 尋</p> | <p>40 あまくもに らかくひかりて なるかみの みればかしく みねばかしくも</p> <p>巻名:巻7-1369 作者:作者未詳 揮毫:会津八一</p> | <p>54 神山の 山邊真藤木綿 みじか木綿 かくのみ鼓に 長くと思ひき</p> <p>巻名:巻2-157 作者:高市皇子 揮毫:入江泰吉</p> |
| <p>12 古の人の 植えけむ 杉が枝に 霞たなびく 春は来ぬらし</p> <p>巻名:巻10-1814 作者:柿本人麿 揮毫:徳川宗敬</p> | <p>27 秋山の 樹の下かくり 逃く水の 吾れこそ益さぬ 御思ひよりは</p> <p>巻名:巻2-92 作者:鏡女王 揮毫:大養 孝</p> | <p>41 巻向の 松原も未だ 雲いねば 小松が末中 淡雪流る</p> <p>巻名:巻10-2314 作者:柿本人麿 揮毫:山本健吉</p> | <p>55 吾はもや 安見見得たり 皆人の 得かてにすといふ 安見見得たり</p> <p>巻名:巻2-95 作者:藤原鎌足 揮毫:遠藤勇作</p> |
| <p>13 山吹きの 立ちしげみたる 山清水 酌みに行かぬと 道の知らなく</p> <p>巻名:巻2-158 作者:高市皇子 揮毫:安田朝彦</p> | <p>28 古に 悪ふる鳥かも づづるはの 石井の上より 鳴き渡り行く</p> <p>巻名:巻2-111 作者:弓削皇子 揮毫:金本朝一</p> | <p>42 あし原の しけしき小屋に すかた、み いやさや敷きて わが二人寝し</p> <p>巻名:古事記 作者:神武天皇 揮毫:北岡高逸</p> | <p>56 鳴神の 音のし聞かし 巻向の 松原の山を 今日見つるかも</p> <p>巻名:巻7-1092 作者:柿本人麿 揮毫:千 宗室</p> |
| <p>14 わが衣 色に染めなむ うまさけ 三室の山は もみらしにけり</p> <p>巻名:巻7-1094 作者:柿本人麿 揮毫:林 房雄</p> | <p>29 磐余道(道標)</p> <p>紫は 仄(仄)さすものぞ つば市の 八十のらまたに 逢へる見や誰</p> <p>巻名:巻12-3101 作者:作者未詳 揮毫:今 東光</p> | <p>43 ねば玉の 夜霧ぞ立てる 衣手の 高屋の上に たなびくまで</p> <p>巻名:巻9-1706 作者:舎人皇子 揮毫:熊谷守一</p> | <p>57 三輪山を 然かも隠すか 雲だにも こころあらむ 隠さふべしや</p> <p>巻名:巻1-18 作者:額田王 揮毫:保田與重郎</p> |
| <p>15 磯城島の 日本の国に 二人 ありと思はば 何か嘆かむ</p> <p>巻名:巻13-3249 作者:作者未詳 揮毫:山口聖子</p> | <p>30 つぬさばふ 磐余も過ぎず 泊瀬山 いつかも越えむ 夜は更けにつ</p> <p>巻名:巻3-282 作者:春日冠首老 揮毫:朝永振一郎</p> | <p>44 降る雪は 淡に降りそ 吉隠の 椿養の岡の 寒かまくらに</p> <p>巻名:巻2-203 作者:穂積皇子 揮毫:今日出海</p> | <p>58 こもりくの はつせの山は 色づきぬ しぐれの雨は 降りにけらしも</p> <p>巻名:巻8-1593 作者:大伴坂上郎女 揮毫:大養 孝</p> |
| <p>16 紫は 仄(仄)さすものぞ つば市の 八十のらまたに 逢へる見や誰</p> <p>巻名:巻12-3101 作者:作者未詳 揮毫:今 東光</p> | | <p>60 妹が目を 跡見の崎の 秋はざば 比月ごろは 散りこすなむの</p> <p>巻名:巻8-1560 作者:大伴坂上郎女 揮毫:服部慶太郎</p> | <p>59 射目立てて 跡見の岳邊の なでこの花 総手折りわれは行きなむ 奈良人のため</p> <p>巻名:巻8-1549 作者:紀朝臣鹿人 揮毫:二条強基</p> |

